

2012年6月27日

# 会社説明会

## (株主総会后開催)



グローバル・ゼラチンスペシャリスト  
新田ゼラチン株式会社

1. 事業概要
2. 今後の展望
3. 事業と市場について
4. 強みについて
5. 戦略について
6. 2013年3月期見通し

## 〈ご案内〉

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であります。その情報の正確性を保障するものではありません。市場環境等の様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。

# 1. 事業概要

# 会社概要

証券コード	4977
社名	新田ゼラチン株式会社 ( Nitta Gelatin Inc. )
本社	大阪市浪速区桜川4丁目4番26号
創業	1918年(大正7年)1月
資本金	1,577百万円
売上高	277億円 (連結:2012年3月期)
従業員数	592名 (連結:2012年3月末現在)

# 起業の歴史

**新田長次郎**

↓ 20歳で松山から大阪へ

製革工場に奉公する

↓ 類なき熱意と工夫、起業

**新田帯革製造所**

動力伝導用  
革ベルトを  
日本で初めて製造

↓ 革ベルト製造用タンニン調達

カシワ樹皮を求め  
北海道に広大な  
原野を購入、開拓

牛皮片等から  
「にかわ」を製造

タンニン製造副産物  
カシワ樹幹材や  
雑木から合板  
(ベニヤ板)を生産

**ニッタ(株)**

1885年 (明治18年)

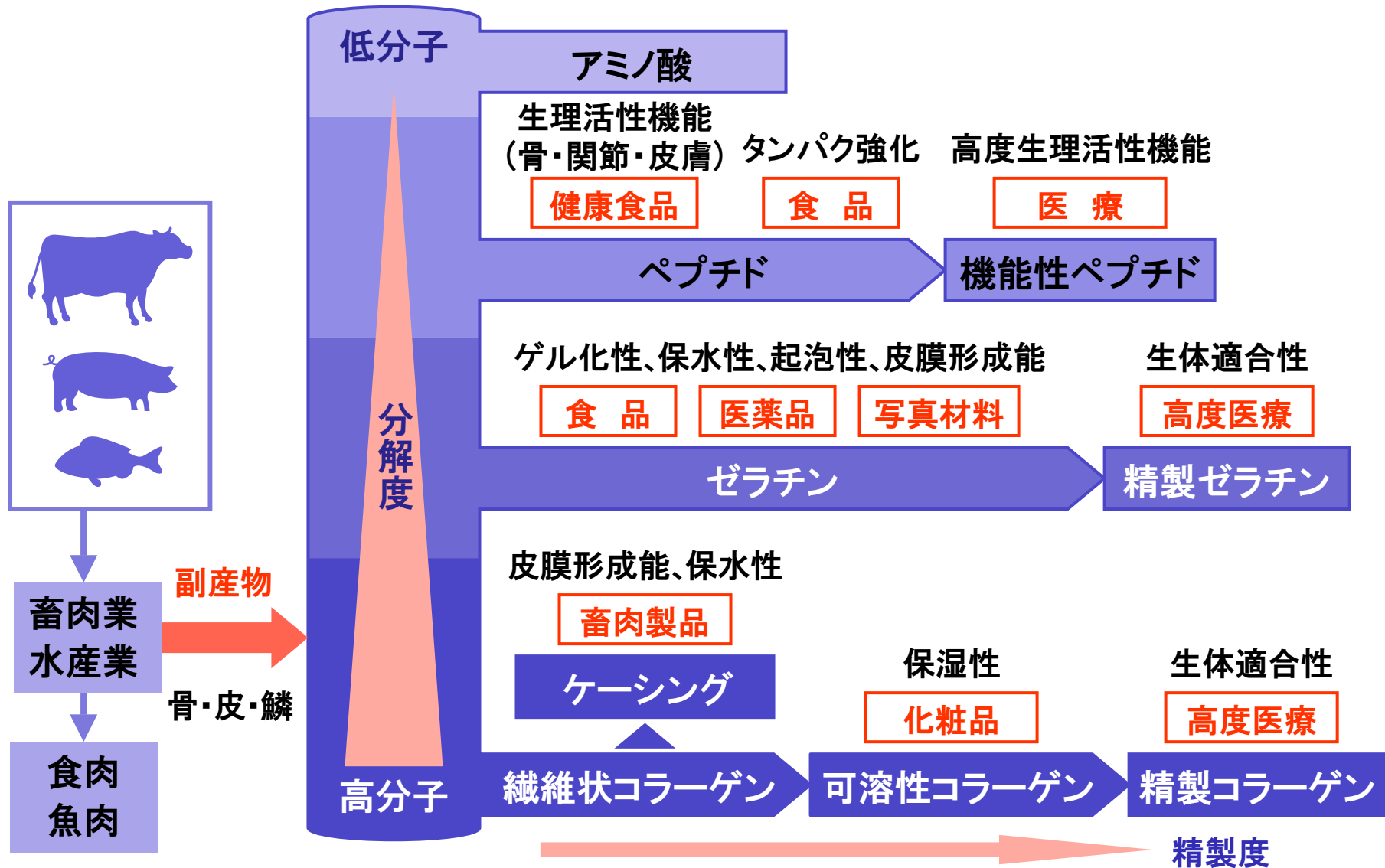
**新田ゼラチン(株)**

1918年 (大正7年)

**(株)ニッタクス**

1919年 (大正8年)

# コラーゲンとゼラチン、コラーゲンペプチドの関係



# 当社製品使用事例

## コラーゲン

### コラーゲンケーシング

#### ソーセージ



### 化粧品



## ゼラチン

### デザート



### 菓子



### 冷凍食品



### コンビニ総菜



### カプセル



## コラーゲンペプチド

### 健康食品



# 市場変化への対応

ニカワ・工業用ゼラチン  
食用・医薬用ゼラチン  
コーシソウ  
コーゲン  
コーゲン  
ペプチド  
コーゲン

..... 機能性ペプチド  
医療用ゼラチン・コラーゲン

2010年代 シニア向け食品：<sup>えんげ</sup>嚥下食  
タンパク食

2000年代 総菜：コンビニ総菜・デザート  
医薬品・健康食品：カプセル

1990年代 菓子：グミ、ソフトキャンディー

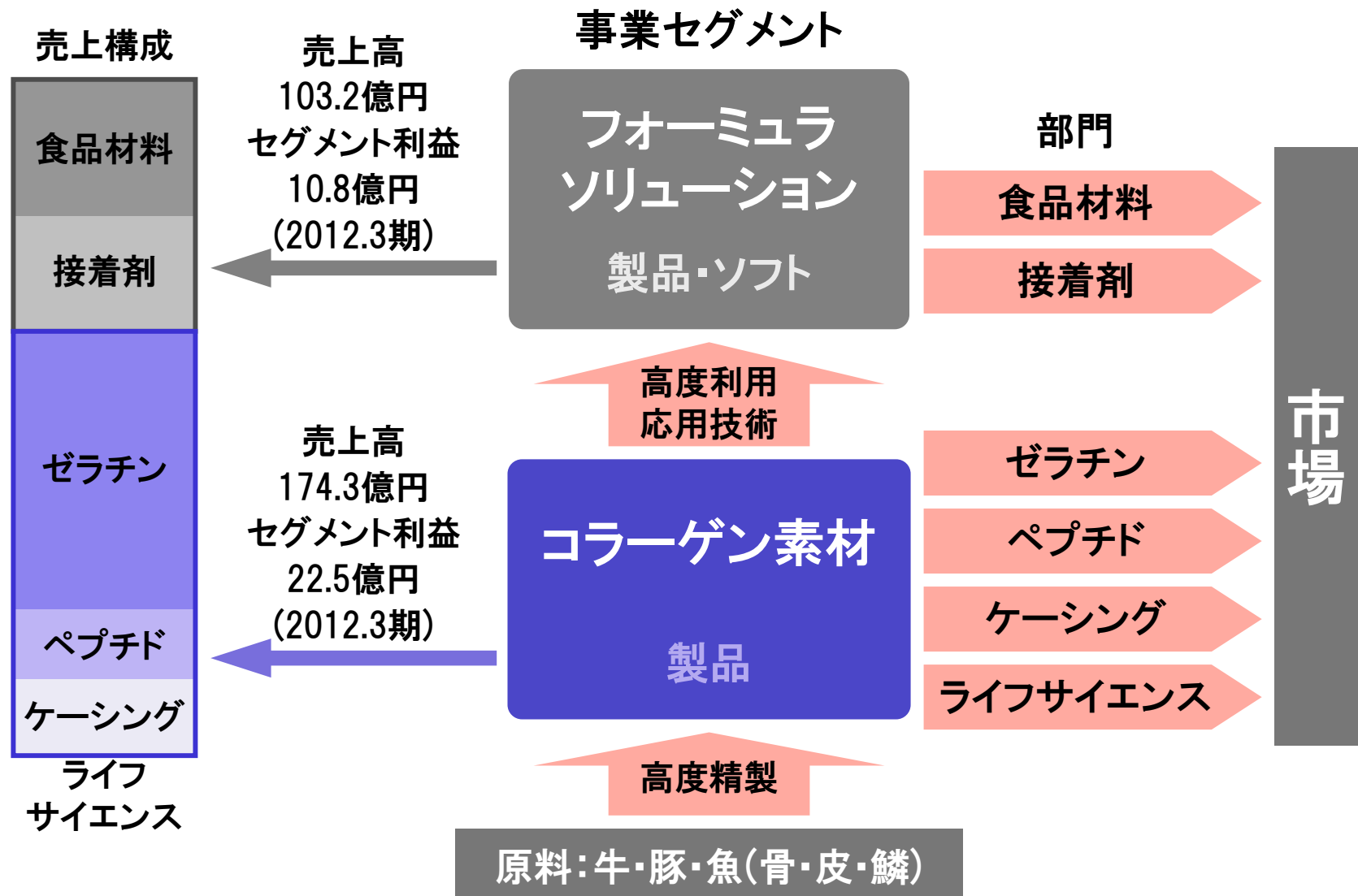
1980年代 銀塩写真：写真フィルム、印画紙

1960年代 マイクロカプセル：感圧紙

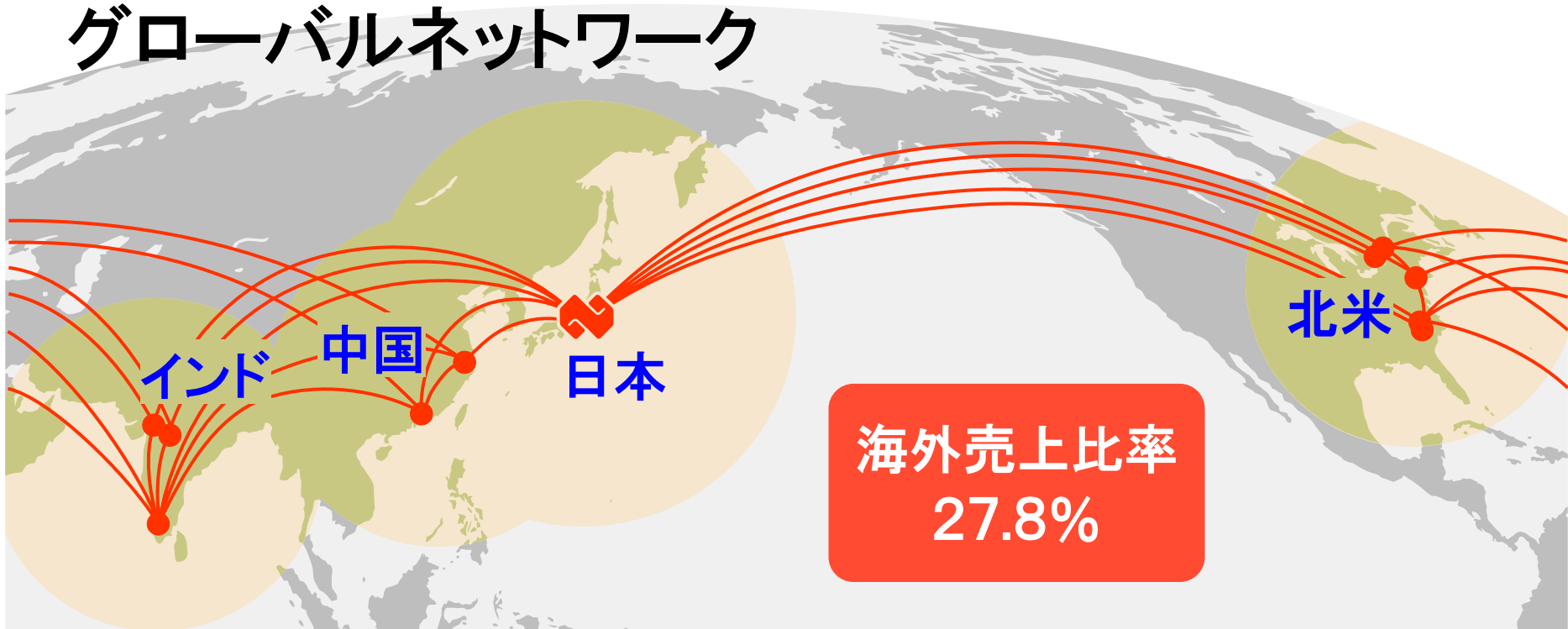
1918年 にかわ・ゼラチンの製造開始：楽器、マッチ、  
レコードジャケット



# 事業セグメントと部門



# グローバルネットワーク



ニッタゼラチンインディアLtd.



上海新田明胶有限公司



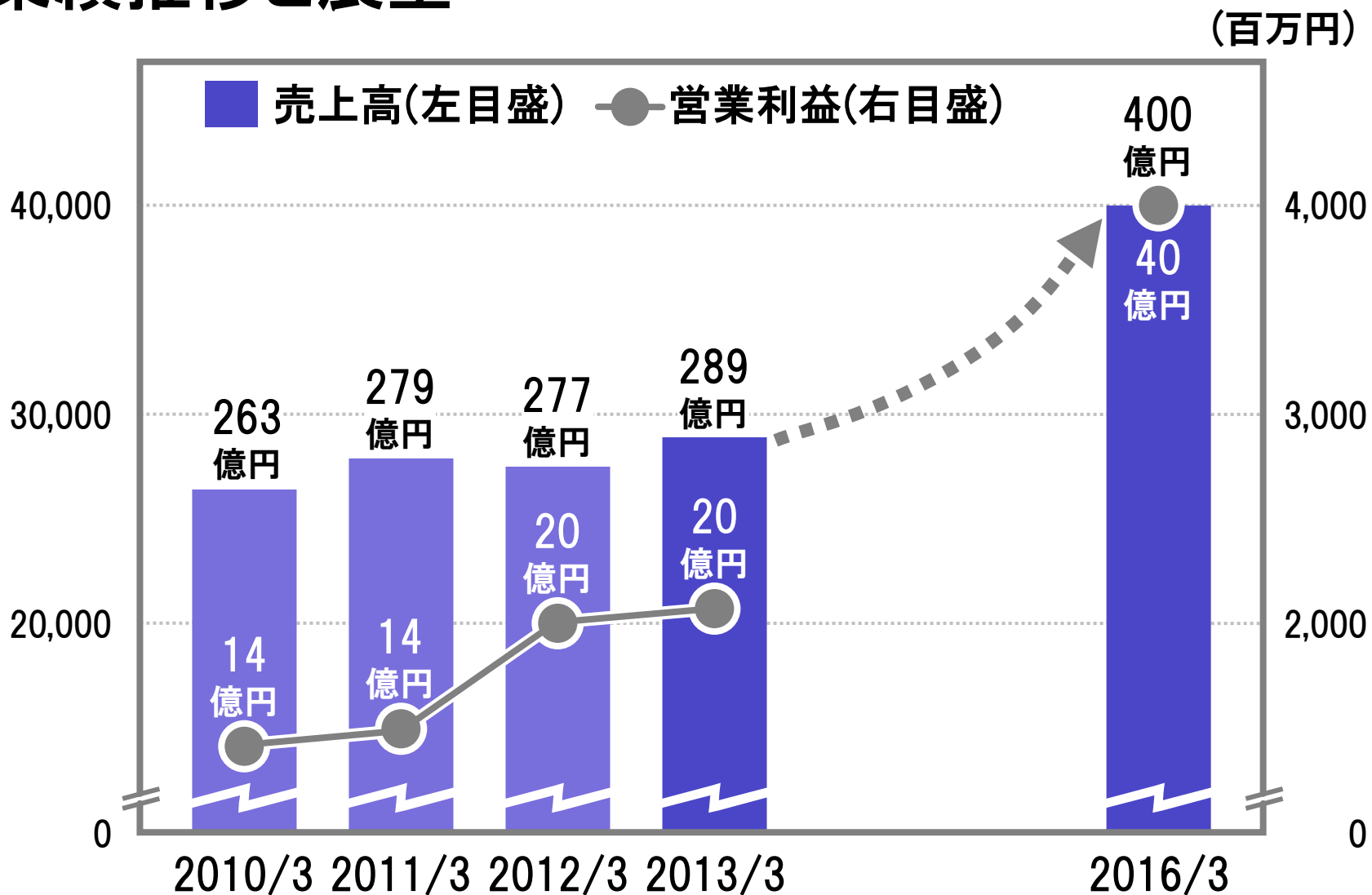
新田ゼラチン(株)



ニッタゼラチンエヌエーInc.

## 2. 今後の展望

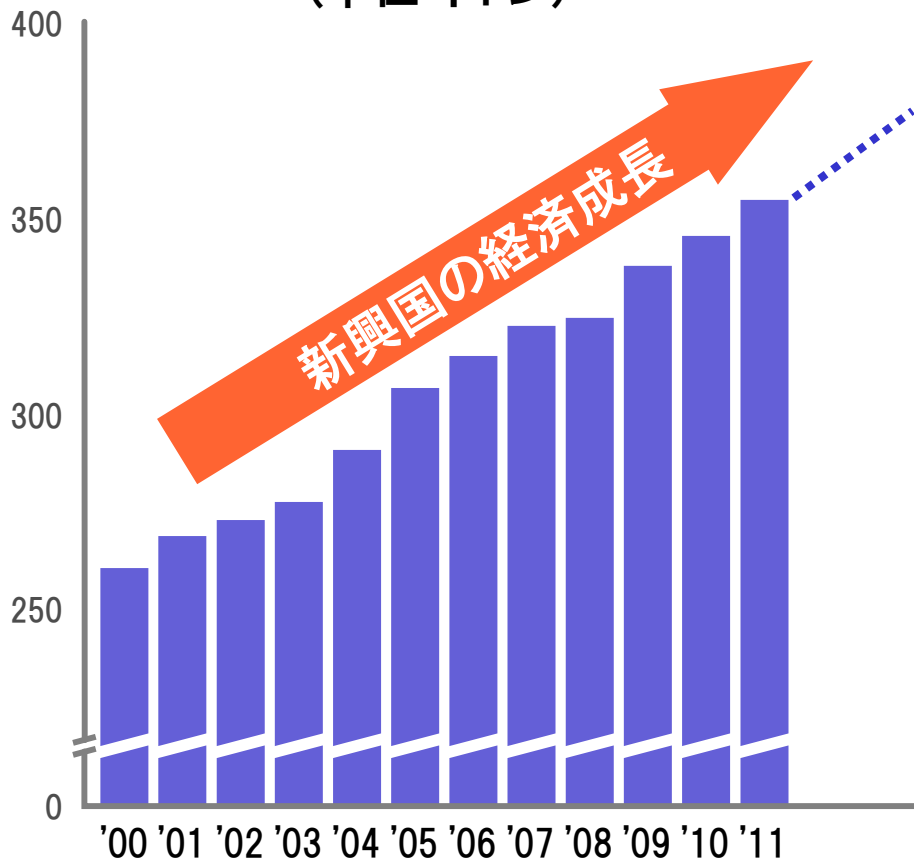
# 業績推移と展望



## 3. 事業と市場について

# ゼラチンは古くて新しいグローバルニッチ製品

世界のゼラチン生産動向  
(単位:千トン)



出典: 欧州ゼラチン工業組合、  
環太平洋ゼラチン工業組合資料を当社で推計

国内総生産(GDP)と相関

アジア圏の経済成長

ゼラチン需要拡大

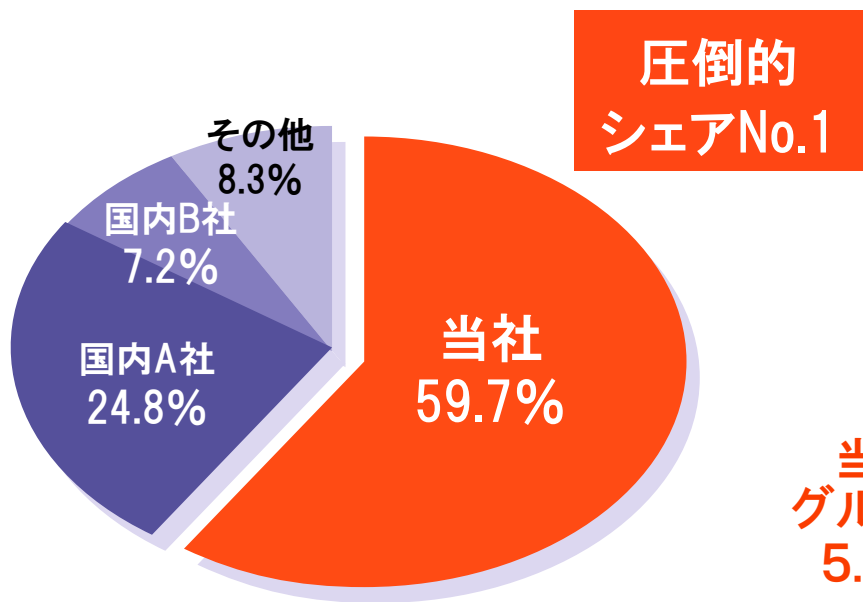
アジア主要国の経済成長率推移

国名	人口 (100万人)	2010	2011	2012 予測
中国	1348.1	10.4	9.2	8.2
インド	1206.9	10.6	7.2	6.9
インドネシア	241.0	6.2	6.5	6.1
ベトナム	89.3	6.8	6.9	5.6

出典: IMF-World Economic Outlook 2012.4

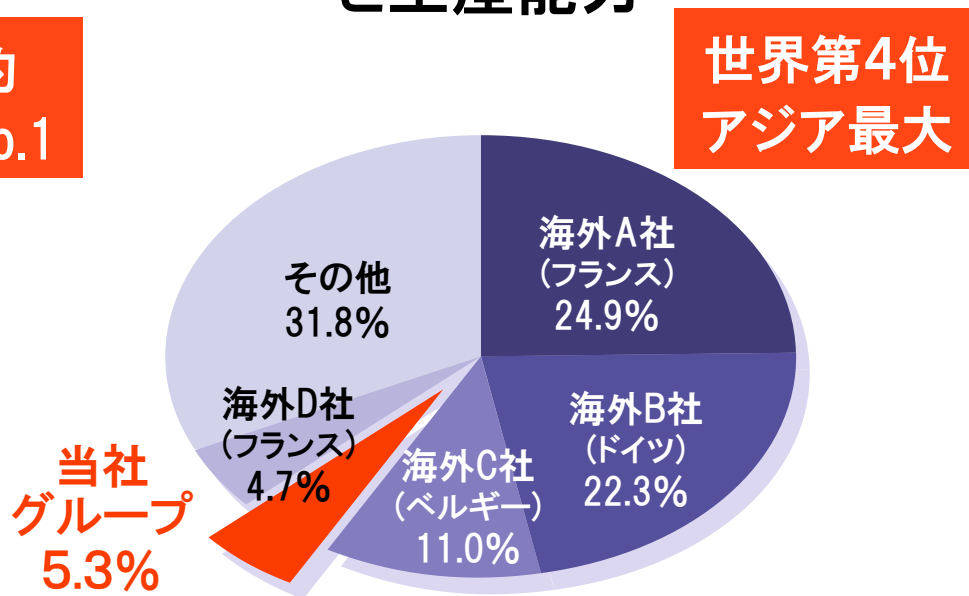
# ゼラチンシェア

## 日本でのゼラチン販売量



出典：『日本ゼラチン・コラーゲンペプチド工業組合』  
(2012年3月期)

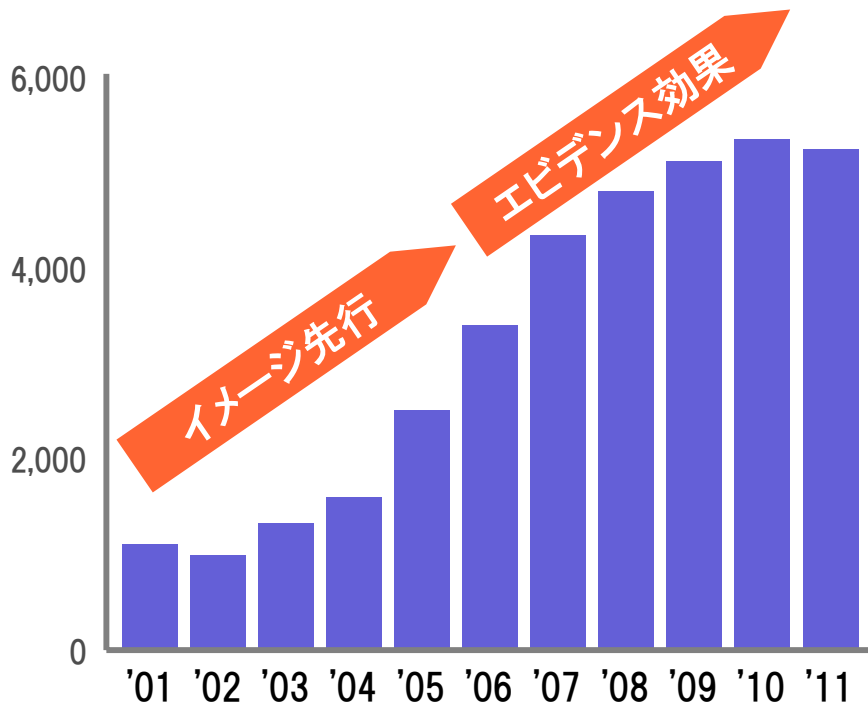
## 世界のゼラチン製造者と生産能力



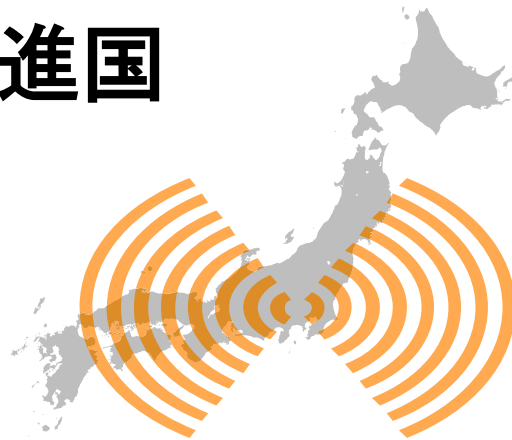
出典：欧州ゼラチン工業組合、環太平洋  
ゼラチン工業組合資料を当社調べ

# コラーゲンペプチドは日本が先進国

日本におけるコラーゲンペプチド  
販売量推移 (単位:トン)



出典:『日本ゼラチン・コラーゲンペプチド工業組合』



日本は世界への情報発信基地



機能性研究: 骨・関節・皮膚への効果

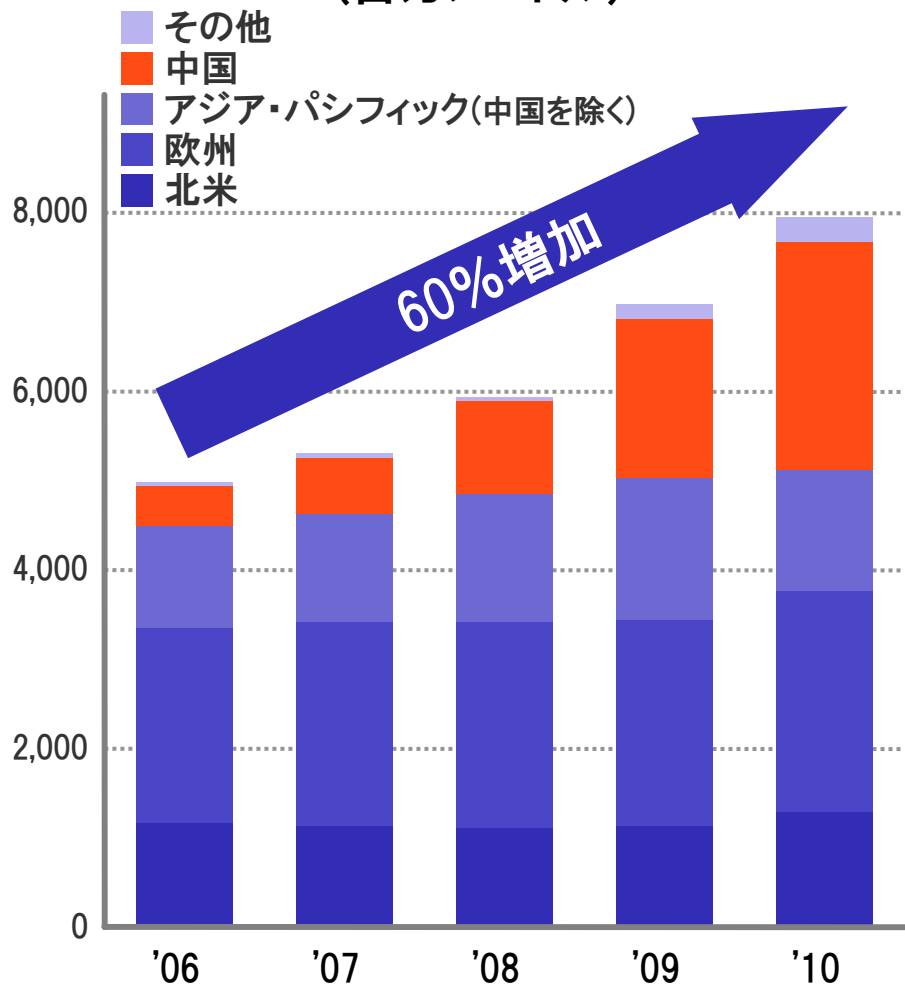
城西大学 真野 博 教授 著

日本流通産業新聞  
2011.01.01



# コラーゲンケーシングの市場拡大

コラーゲンケーシング生産量  
(百万メートル)



コラーゲンケーシング



ソーセージ製造

## 4. 強みについて

## 当社の強み

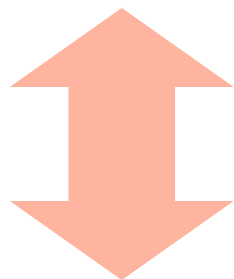
- 高いゼラチンシェア  
国内 ▶ トップ、世界 ▶ 第4位
- 成長する3本柱  
ゼラチン、ペプチド、ケーシング
- グローバルネットワーク  
北米・アジアに事業拠点、販売網を構築
- ソリューション力<sup>リョク</sup>  
アプリケーション開発・提案

# 5. 戦略について

# 当社の成長戦略

国内戦略

新製品開発  
新市場開拓

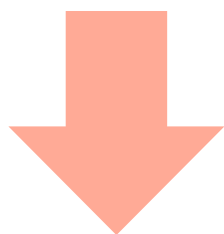


海外戦略

アジア・北米  
での事業拡大

## 国内事業

新製品開発  
新市場開拓



将来事業



- **ゼラチン事業**
  - 新ゼラチンの開発
- **ペプチド事業**
  - 機能性素材(ロコモペプチド)の研究開発
- **食品材料事業**
  - コンビニ・シニア向け製品開発
- **接着剤事業**
  - 高機能樹脂(シーラント)の開発
- **ライフサイエンス事業**

※ ロコモ:老化による運動機能低下

# ライフサイエンス事業の戦略

## ● 医療用ゼラチン・コラーゲン研究開発



当社大阪工場内 ビークラス

### 医療用ゼラチンの事例

#### 難聴、再生医療で改善

京都大の伊藤寿一教授と中川隆之講師らは、原因不明の「突発性難聴」の症状を再生医療で改善することに成功した。細胞の成長を促す薬剤を染み込ませたゼラチンを耳の中に入れ、弱った細胞の機能を回復させた。25人を対象にした臨床試験で効果を確認した。

#### 「突発性」京大が臨床試験

細胞が集まる蝸牛（かきゅう）の膜に置いた。3カ月後に調べると48%で聴力がよくなった。まったく聞こえない人が音を感じる程度まで回復したり、軽度の人には正常に近い状態まで改善したりした。副作用は特になかった。今年度内にも患者を120人まで増やし、有効性などを詳しく調べる試験を始める。突発性難聴の国内患者は約3万5000人。ステロイド投与で治療するが20%は効果がなく、新たな治療法が求められていた。

日本経済新聞朝刊 2010.12.2

# 海外事業

アジア・北米  
での  
事業拡大

- **ペプチド事業**
  - 生産拠点の増強  
中国： 本年より稼働  
アメリカ： 工場建設予定
- **ケーシング事業**
  - 最新設備導入
  - 中国での製造・販売
- **ゼラチン事業**
  - グローバル供給能力増強



# アジアフォーカス

## アジア圏(9ヶ国)での事業拡大の基盤

● : 当社グループ

日本

新田ゼラチン(株) [生産・販売]  
彦根ゼラチン(株) [生産]  
(株)アイビス  
(株)アルマコーポレーション  
(株)ニッタバイオラボ [販売]

中国

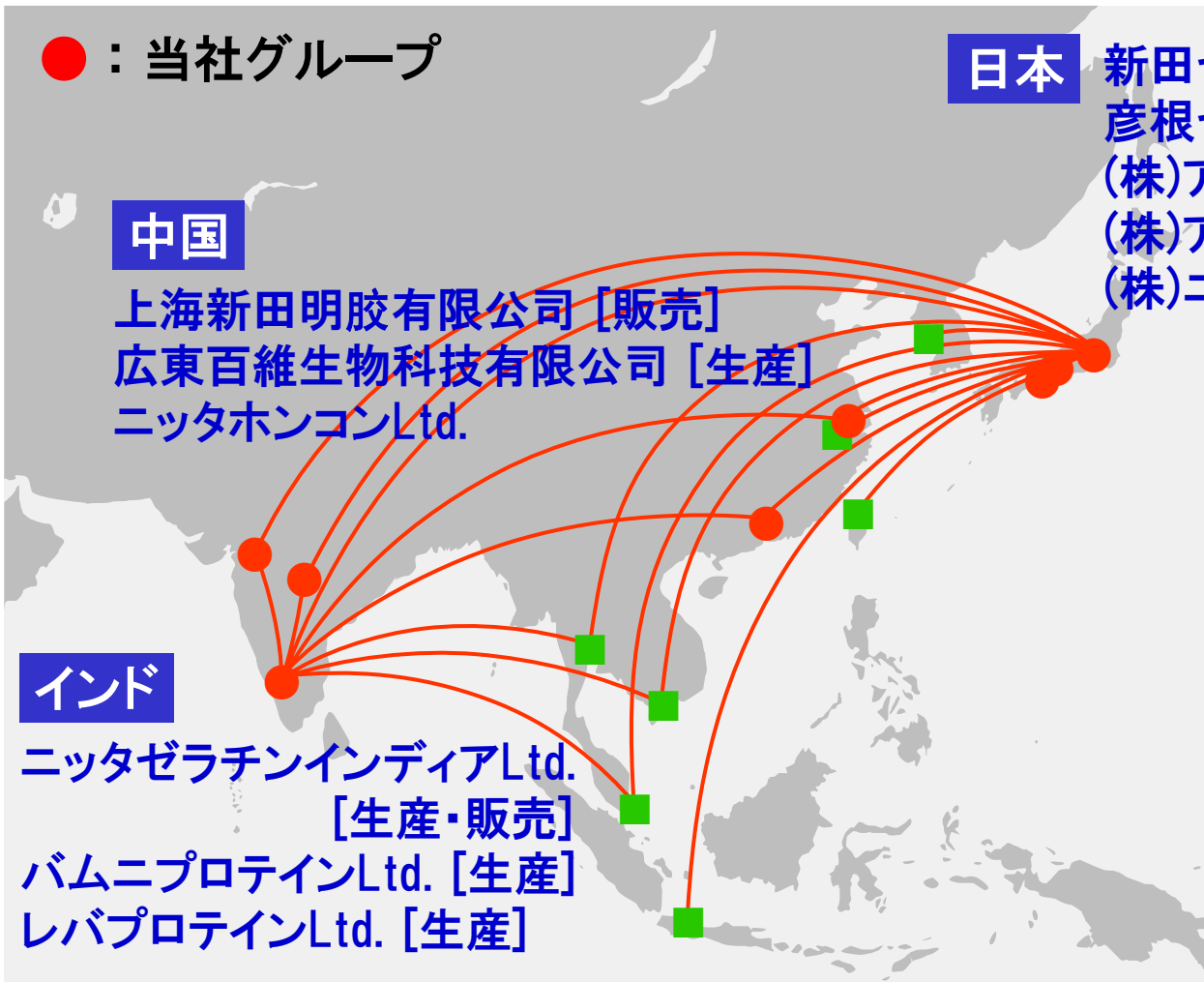
上海新田明胶有限公司 [販売]  
広東百維生物科技有限公司 [生産]  
ニッタホンコンLtd.

インド

ニッタゼラチンインディアLtd.  
[生産・販売]  
バムニプロテインLtd. [生産]  
レバプロテインLtd. [生産]

■ : 海外代理店

韓国  
中国  
台湾  
ベトナム  
シンガポール  
インドネシア  
タイ



ソリューションカ<sup>リョク</sup>



デザート



菓子



冷凍食品



コンビニ総菜

# アプリケーションラボ



大阪



東京



米国(ノースカロライナ州)



インド(ケララ州)



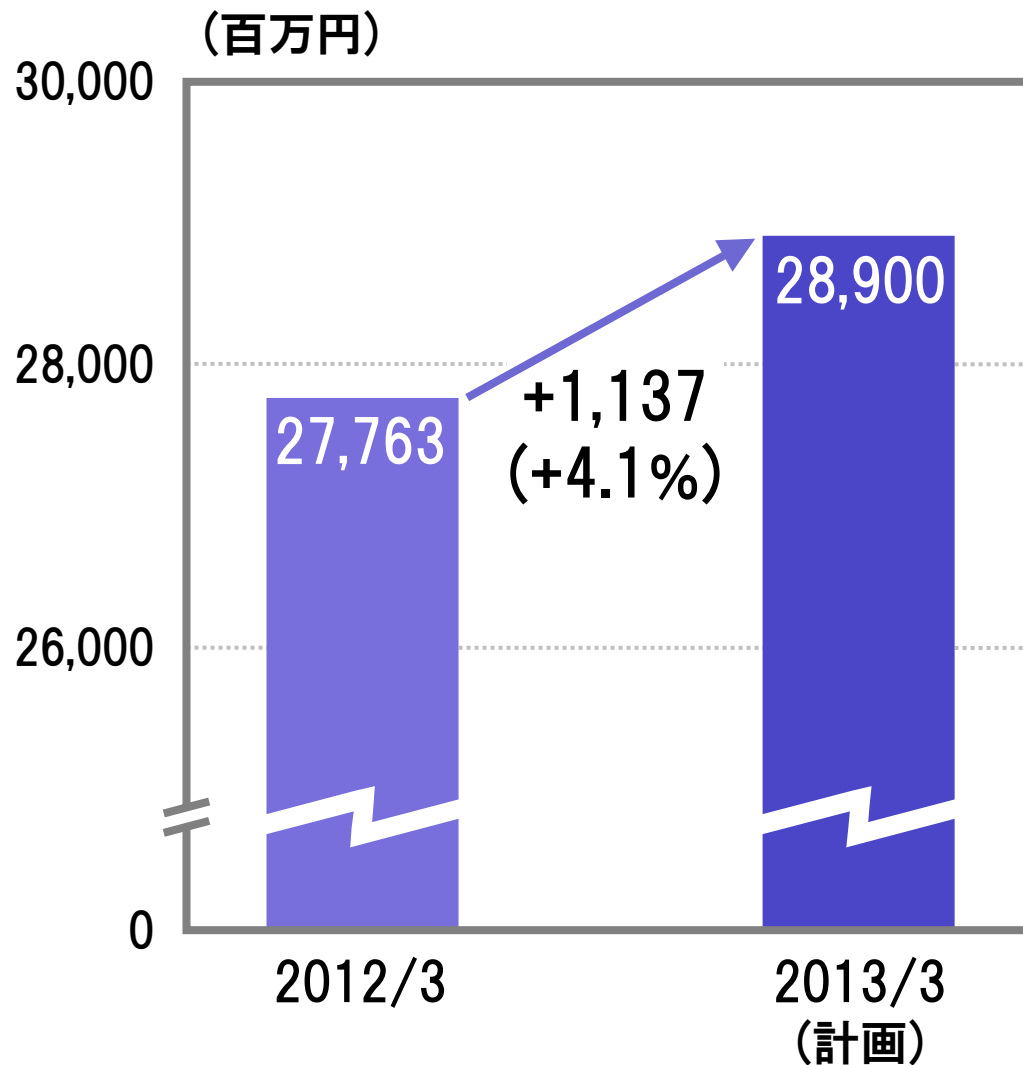
中国(上海)

# 「アジア圧倒的No.1、 世界オンリーワン」企業へ

# 6. 2013年3月期見通し

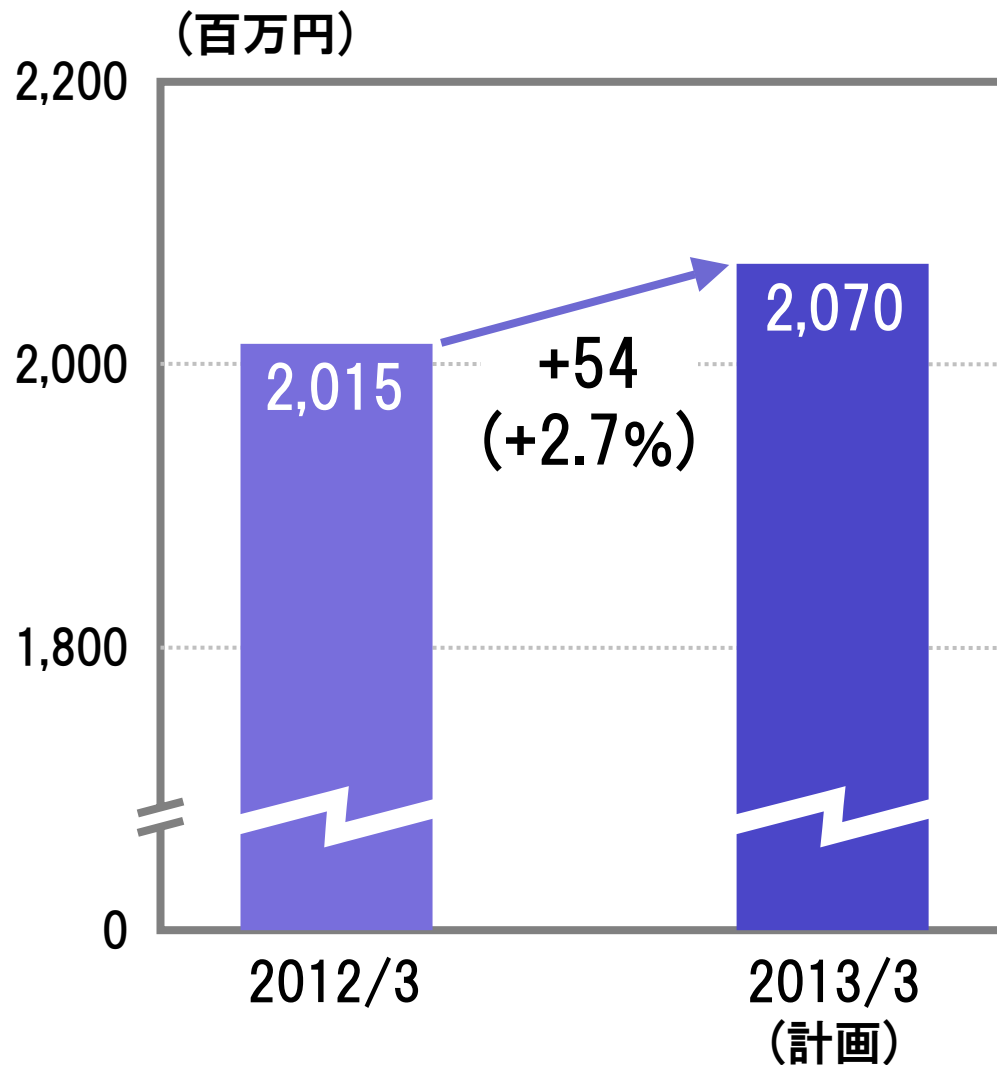
# 2013年3月期見通し

売上高



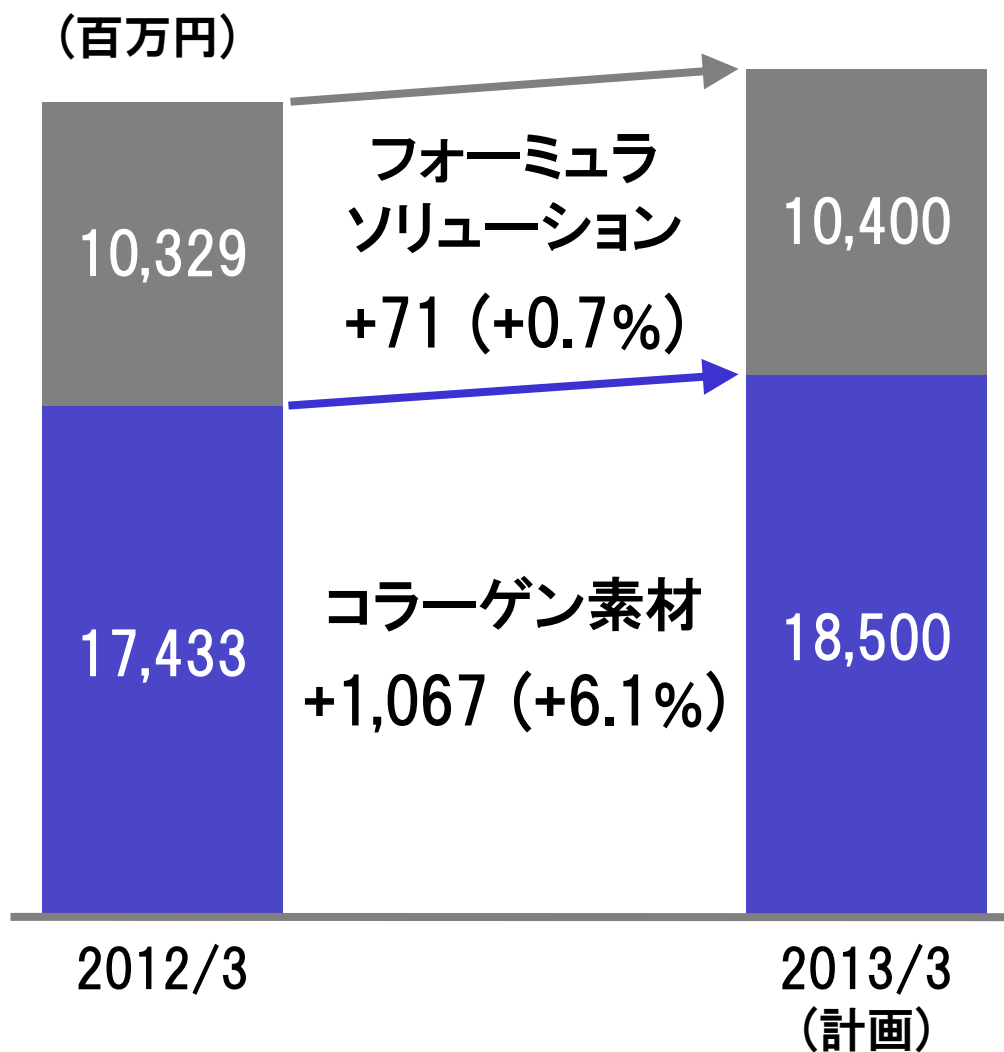
# 2013年3月期見通し

## 営業利益



# 各セグメント別見通し

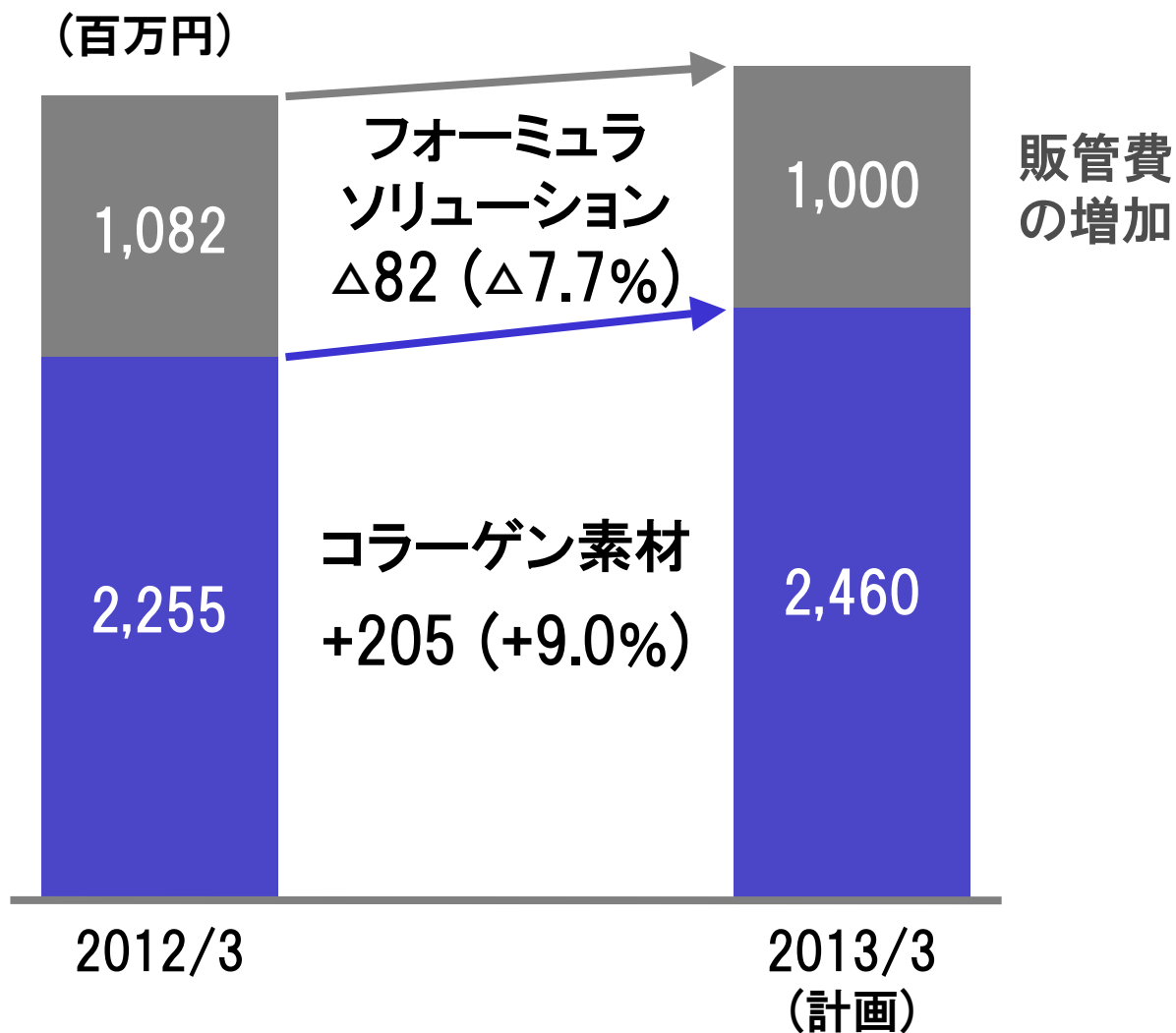
## 売上高





# 各セグメント別見通し

**セグメント  
利益**



## 今期の取り組み

セグメント	部門	取り組み内容
コラーゲン 素材	ゼラチン	新ゼラチンの開発
	ペプチド	中国及びアジアでの事業化
	ケーシング	生産設備更新
	ライフ サイエンス	医療用ゼラチン、コラーゲンの研究開発
フォーミュラ ソリューション	食品材料	コンビニ、シニア向け食品材料の開発
	接着剤	高機能樹脂(シーラント)の事業拡大
全社		省資源・省エネ

# 投資計画

## 2013年3月期：2,852百万円

### 2013/3 主要な設備投資

(百万円)	投資額	投資効果(目標)
大阪工場 省エネ設備導入	330	CO <sub>2</sub> 25%削減(2011/3期対比)
北米ケーシング 製造設備の更新	640	約30%の生産性改善
北米ペプチド 新工場の建設	1,000	生産規模1,000トン(2014年3月期稼働)

## 株主の皆様へ

### 配当方針

企業価値向上のための投資と、  
安定した配当を継続することを基本とし、  
配当性向15%を目安とします

### 株主優待制度

- 100株～500株未満：  
1,000円相当の当社商品お買物優待券
- 500株以上：  
3,000円相当の当社商品